

KSN 通信 VOL.185

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

今夏は、平年を大きく上回る過去に例のない記録的な暑さとなり、9月に入っても異例の残暑が続いています。1898年から統計を開始した平均気温偏差は過去最高の+1.76を記録しており、また、10月にかけても平年より日中の気温が高くなるとの予測が出ているため、引き続き熱中症等に注意し、食中毒のないよう食品の管理にもご留意ください。

■ 労働安全衛生規則等の一部改正について

■ 貨物自動車の荷役作業における労働災害防止措置が強化されます

令和5年10月1日より、改正労働安全衛生規則が施行されます。今回の改正では、労働災害防止の点から、荷役作業時の昇降設備の設置および保護帽〔ヘルメット〕の着用が必要な貨物自動車の対象範囲が広がり、最大積載量2トン以上5トン未満の貨物自動車にも義務付けられます。また、令和6年2月1日より「テールゲートリフターを使用して荷を積み卸す作業への特別教育の義務化」が施行されます。

詳細につきましては、下記URLをご参照ください。

【<https://www.mhlw.go.jp/content/001108427.pdf>】

【<https://jsite.mhlw.go.jp/okayama-roudoukyoku/content/contents/001514113.pdf>】

■ リサイクルニュース

■ 令和3年度の食品廃棄物等の年間発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率

農林水産省より、「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」と「食品リサイクル法に基づく定期報告結果」を用いて推計された令和3年度の食品廃棄物等の発生量及び食品循環資源の再生利用等実施率の推計値が公表されました。食品廃棄物等の年間発生量が100トン未満の事業所の発生量を推計し、年間発生量が100トン以上の事業所の発生量（定期報告）と合算することで、食品産業全体からの年間発生量を推計しています。

業種	食品廃棄物等の発生量（単位：千トン）				食品循環資源の再生利用等実施率			
	令和3年度	対前年増減率	(参考)令和2年度	(参考)令和元年度	令和3年度	目標値	(参考)令和2年度	(参考)令和元年度
食品産業計	16,698	2.8%	16,236	17,556	87%	—	86%	85%
食品製造業	13,860	3.5%	13,389	14,224	96%	95%	96%	96%
食品卸売業	222	-4.0%	231	247	70%	75%	68%	64%
食品小売業	1,141	2.8%	1,110	1,185	55%	60%	56%	51%
外食産業	1,475	-2.1%	1,506	1,900	35%	50%	31%	32%

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク
〒592-8331
大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）
FAX：072-320-9004